

## 第1次候補に大竹

18歳以下世界選手権

日本高野連は3日、8月に台湾の台中で開催される18歳以下の世界選手権に出場する高校日本代表の第1次候補26人を発表し、選抜高校野球大会で3回戦に進出した県勢・済々黌のエース大竹耕太郎を選出した。

選抜大会で初優勝した浦和学院（埼玉）からは小島和哉投手と高田涼太、竹村春樹の両内野手が選ばれた。準優勝した済美（愛媛）では安楽智大投手が入った。

日本高野連は選抜大会と今夏の全国選手権に出場した選手を中心に選考し、最終的に代表20人を決める予定。

## 済々黌が優秀賞

4/4  
○…応援団賞の最優秀賞に21世紀枠で出場した土佐（高知）が選ばれた。3800人がアルプススタンドを埋めて、動きに一体感があったことや、対戦相手の好プレーにも拍手を送っていた点などが評価された。

優秀賞には、在校生と卒業生が大声援を送った県勢の済々黌のほか、いずれも初出場の尚志館（鹿児島）、春江工（福井）、安田学園（東京）、遠軽（北海道）が選出された。